

新潟をひとつにするのはスポーツだ

定価850円

NIIGATA Sports Magazine

新潟スポーツスタンダード
マガジン

Standard

2018 October-November

[10・11月] Vol. 1

創刊

新時代へ

新潟バスケットボール特集



激戦に備えよ

2018-19シーズン開幕
新潟アルビレックスBB

五十嵐圭
柏木真介

ニューエイジ爽やかに
ウインターカップ2次予選出場
バスケ注目校

男女59チーム紹介

高校野球

「春」を目指す
新チームの熱情

スポーツ各界展望
未来を熱くするのは
この顔だ!

魂を受け継いだ
精鋭たち
新潟バドミントンの今



新時代へ

004 新潟バスケットボール特集

006 激戦に備えよ

新潟アルビレックスBB **五十嵐圭**
 新潟アルビレックスBB **柏木真介**
 新潟アルビレックスBB **庄司和広HC**

013 新潟アルビレックスBB ロスターファイル

018 新潟アルビレックスBBラビッツ **小川忠春HC**

019 新潟アルビレックスBBラビッツ ロスターファイル

022 原石集まるユースチーム 若手の成長に未来を見た
 新潟アルビレックスBB U15

024 ウインターカップ目指すバスケ注目校

男子 開志国際高校/帝京長岡高校
 新潟商業高校/新潟産業大学附属高校
 女子 開志国際高校/新潟商業高校
 新潟清心女子高校/新潟中央高校

036 ニューエイジ爽やかに
 ウインターカップ 2次予選出場校 **男女59** チーム選手名鑑

052 躍動する新潟のバスケチーム

清心女子中学校/内野中学校/BOMBERS
 葛塚ウイングス/HEDGEHOG/ULTIMATES
 新潟経営大学/新潟医療福祉大学
 アップルスポーツカレッジ
 新潟車椅子バスケットボールクラブ

062

高校野球
「春」を目指す新チームの熱情
 第139回北信越高校野球
 新潟県支部予選・県大会ハイライト

076

スポーツ各界展望
未来を熱くするのはこの顔だ!
 齋藤鳳人 (ボクシング)
 中井飛馬 (BMX)
 三輪隼斗 (相撲)
 ブルボンウォーターポロクラブ柏崎 (水球)

084

We are アルビレックス!
 アルビレックス各チーム注目選手紹介

094

魂を受け継いだ精鋭たち
新潟バドミントンの今
 木村光尊/北越高校/新潟青陵高校
 山城政人/稲川蓮二郎
 ヴァーテックスバドミントンスクール

104

Standard Special Interview **鶴木良夫**

106

Standard TOPICS from新潟県スポーツ協会

108

NIIGATA SPORTS FLASH

連載

001

S-motion **しばたパフォーミングキッズ**
 シマ重野

109

I LOVE SPORTS

112

次号予告



「最大の対戦」を直前に鍛錬中
 新潟密着は我がプロレスのテーマ

シマ重野 (しましげの)
 新潟プロレス/代表取締役
 本名・重野幸浩 (しげの・ゆきひろ)。1973年7月12日生まれ。新潟市出身。日本文壇ではボクシングに
 取り組み、2、3年生時に連続で全国選抜、インターハイ、国体に出場。卒業後、民間企業に就職。99年に
 メキシコに渡り、プロレスラーに。11年に新潟プロレスの立ち上げから参加。12年に代表取締役に就任。

プロレス人生最大のビッグマッチを11月に迎える。「新潟プロレス・旗揚げ7周年記念大会」(11月24日・新潟市東区プラザホール)で、船木誠勝と対戦する。「シングルで戦う相手としては、今まで最強の相手」。打撃、関節技とオールラウンドにハイレベルな実力を持つ船木への対策も抜かりはない。親交のある空手家「夢源会」の岩木秀之師範のもとで、打撃の練習を重ねている。もちろん、引け目はない。「船木さんの世界を感じられるいい機会。プロレスとは違う、格闘技のキック、打撃を体感したい」と前向きだ。
 新潟プロレス創設以来、地域密着を掲げて活動してきた。レスラーであり、代表取締役でもある。営業、イベントの打ち合わせと多忙の日々を送る。最近では自動車ディーラー、新潟マツダのCMに出演。「営業に行くと、『CM、見ましたよ』と言われます」と笑う。地域の祭りへの参加、小学校、介護施設などへの訪問を毎年行ってきたことが認められ、県からグッドスポーツカンパニーに認定された。

クルマがもらえる コミコミリース!!

新車が 月々 10,800円~ (税込)

※契約期間満了時に車両引き渡し。※リース内容については店頭で詳細を確認下さい。※画像はイメージです。

COCO SELECT 長岡店 新潟店 上越4WD専門店 検索

営業時間/9:00~18:00 定休日/毎週火曜・第3月曜 <http://www.cocoselect.jp>

新時代へ

STANDARD SPECIAL

新潟バスケットボール特集

秋から冬へ、駆け足で季節が向かうころ、バスケットボールは最も熱い時を迎える。10月のBリーグとWリーグの開幕、11月に県代表が決まり年末に開催されるウインターカップ、年始にかけて覇権を争う天皇杯皇后杯——各カテゴリーの新潟勢は存在感を示す実力を持つ。それを支える地域の熱もある。バスケットが新潟を熱くする。

撮影●嶋田健一



新時代の礎を築いた男、 かく語りき

リーグの新潟アルビレックスBBは
10月6、7日のアウェイ滋賀レイクスターズ戦で今季の開幕を迎えた。
新潟在籍3年目、PG五十嵐圭は万全の状態の新シーズンに臨む。
チーム最年長の38歳。チームの大黒柱、精神的支柱として存在し続ける胸中は、
悲願のチャンピオンシップ進出への意欲に満ちている。



■新潟アルビレックスBB

五十嵐圭

KEI IGASHIRA

#7
PG

チームのため、
より得点にこだわる

「いよいよシーズンが開幕しました。ここまでの感触は。」

五十嵐 ●「アーリーカップやプレシーズンゲームでは、個人的には出場時間が短いゲームもあって、結構休めたかな（笑）。チームとしては試合を重ねることにコミュニケーションが取れるようになって、開幕を迎えました。今季は序盤から勝利を重ねられるように持っていきたいです」

―今季が新潟在籍3年目のシーズンになります。

五十嵐 ●「言葉にすると早いな、という感じがしますね。リーグ開幕の初年度に移籍してきて、シーズンに入ってから『長いな』とか『もうこんな経ったのか』と思ったりもしました。3シーズン目、自分もチームも、もう少しステップアップしな

ければならないな、と感じています」

―新潟に来た意味、目標にブレはないと思います。

五十嵐 ●「そうですね。新潟のチームを強くしたい、高い目標ではあるけれど、優勝したい。それに向けて自分自身にとっての3シーズン目は、より結果にこだわらなければならぬし、こだわって戦いたいです。と思っています」

―新潟のチーム力そのものは、土台ができて、そこに積み上げがされていると思えますが。

五十嵐 ●「毎年メンバーが大きく入れ替わるので、過去2シーズンと単純比較はできませんが、僕とタバンテ・ガードナー（※昨季のB1得点王）がチームを引っ張っていかなければならぬという自覚は、1年目より2年目の方が出てきました。それを踏まえて今季はさらに自分たちが中心にならなければいけない。その中に、今季移籍

してきた選手たちをチームにとけ込めるようにうまく持っていきたい」と

―柏木真介選手、上江田勇樹選手と、日立、三菱電機名古屋時代のチームメイトが移籍してきました。チームのベースアップの面では楽しみが多いのでは。

五十嵐 ●「一緒にプレーをしたことがあるので、彼らの特徴は知っています。あとはどれだけ早くチームのスタイルに対応してくれるかですね。ほかにも未知数の若手、渡辺竜之佑、石井峻平らの力も必要になってきます。周囲が期待してくれている分、彼らが結果を出せるようにしたい。真介や勇樹とは家族ぐるみで食事に行きました。チーム全体の雰囲気もいいので、渡辺や石井もなじみやすいと思います。これからはプレーの中でも意思疎通がスムーズにできるようにしていきたいです」

―個人のプレーとして、今季、考えていることは。



新潟アルビレックスBB
2018-19 リーグ開幕

STANDARD SPECIAL 新時代へ
新潟バスケットボール特集

激戦に備えよ!

第139回 北信越高校野球
新潟県支部予選・県大会ハイライト

「春」を目指す 新チームの熱情

～いま、若き才能を解き放つ時～

第139回北信越高校野球新潟県支部予選・県大会が9月6～23日まで開催された。優勝は日本文理で、秋の大会を4年連続で制覇。準優勝の新潟南は、21年ぶりに北信越大会出場を決めた。準決勝に進出した関根学園、帝京長岡を含めた4校が来春のセンバツ出場の参考となる北信越大会（10月13～21日・ハードオフエコスタジアム）に出場する。秋の陣の熱戦を振り返った。

撮影◎嶋田健一





スポーツ各界展望

未来 to the Future を 熱くするのは この顔だ!

さまざまなスポーツジャンルで目覚ましい活躍を見せる注目のプレーヤーが、新潟には数多く存在する。新潟に生まれ、または軸足を置いて、全国レベル、世界レベルで結果を残す彼らは、そのスポーツジャンルの地域水準を押し上げ、競技人口の拡大にも貢献するだろう。新潟スポーツ界の未来を期待させる鼓動だ。

全日本アンダージュニア(UJ)ボクシング王座決定戦(8月18日・大阪・エディオンアリーナ)の小学生男子46kg級で優勝した。決勝は沖繩・津覇小6年の盛真和に3-0の判定勝ち。1学年上、しかも148cmの自分に対し、相手の身長は160cm。体格で劣りながらも、臆することなく持ち味のインファイトを仕掛けて圧倒した。

「決勝の前は緊張したけど、試合になったらそうでもなかった。父の栄太郎さんは「試合の前、ベンチで寝ていました。緊張しているように見えませんでしたけど」と苦笑い。本番での強さを見せた。

もともとは空手が主体。5歳から土衛塾三条支部に通っている。極真館主催の全日

本青少年空手道選手権大会で、昨年は小学生男子4年生の部重量級、今年は5年生の部同級で2連覇する実力の持ち主。

ボクシングを始めたのは、「打撃の力をもっとつけるため」。昨年5月から杉澤ボクシングジムに通い始めた。「パンチ力はこの年代ではかなりある」。ジムの杉澤ボ会長も潜在能力の高さを認める。

週3日ボクシングの練習、週2日は空手。昨年から書道教室にも週1日通い始めた。小学校での部活動は図画工作部。「性格は普通だと思う」とクラスメイトと戯れている時間が好きだ。

クラス委員長も務める。「誰もやろうとしないから」と立候補。いざというとき

きに積極的に行動する一面も。「立候補してなったのは知らなかったんです。そういうところもあるんですね」。栄太郎さんも知らない、いざというときの度胸の良さが格闘技の場でも見え隠れ。

UJ優勝のあと、全校生徒の前で表彰された。クラスメイトや先生たちの祝福がうれしかった。「将来はオリンピックに出たい」とボクシングでの夢ができた。

好きなボクサーはWBA世界バンタム級王者で3階級制覇の井上尚弥。同時に「空手も頑張りたい」。まだどちらに決める年代ではない。それ以上にやりたいこと、到達したい目標がある。旺盛な意欲が成長の原動力になる。

齋藤鳳人

SAITO TAKATO

ボクシング
全日本アンダージュニアボクシング
46kg級王者
[上林小5年/三条市]

家族の知らない積極性が
格闘家の素質に火をつけた

撮影◎嶋田健一